

新宮山彦ぐるーぷ第2287回

持経宿と行仙宿に連休用資材の荷揚げと林道の巡視

◇実施日 4月20日(土)

晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎

2名

4月になってから村吉さんが2度、3度と持経宿に入って池郷白谷林道の整備などを行ってくれた。大型連休も近くなり、事前に缶ビールとコーラ、トイレットペーパーやカセットボンベなどを持ちこむ必要があつて湯川君と二人で出かけた。

スポーツ公園から池郷林道ゲート迄20分弱で着いた。ゲートの先もいつもの状態で、一度も車を降りることなく持経宿に着く。持ってきた品物を倉庫に入れ、白谷林道経由で行仙宿に向かう。



持経宿に到着



白谷林道の状況



路肩崩落

1.5km位先で村吉さんから聞いていた大荒れした場所に着く。

150mほどの距離に水流で深い溝ができ、路肩は崩落寸前になっている。この補修はかなりの量の土砂が必要で、路肩部分は大きな工事が必要だ。4〜5人でジョレン、トンガを使ってもどうしようもない。湯川君に運転してもらい、沖崎は降りて前から溝を避けるように指示をしながら極端にゆっくりと通過した。村吉さんはここを一人で通過したのだからと感心する。

大雨の度に水が流れ、溝が深くなり路肩が崩れていく。今後、白谷林道を通行することは出来ないだろう。森林管理局の対応次第だ。



枕を運ぶ



ザイルも運ぶ



枕を収納

補給路登山口に着き、大江さんが寄贈してくださった枕13個をモノレールに積み込み、2人で登りだす。

終点の荷物置き場から50mのザイルを加えて行仙宿に向かう。行仙宿に着いて小屋や管理棟の窓を開けて換気を行う。

昼食を摂って、午後には3組8人の登山者が小屋前を通過した。再度不足品や次回持込品などをチェックして下山した。

(記；沖崎)

行動タイム

持経宿 08：50→10：24 白谷林道ゲート→10：40 補給路登山口↓
11：25 行仙宿 12：45→13：20 補給路登山口